



熊本県の金融経済概観

(2023年12月13日)

1. 概況

熊本県内の景気は、緩やかに回復している。先行きについては、海外の経済動向や資源価格の動向等の影響を注視していく必要がある。

個人消費は、緩やかに回復している。観光は、増加している。住宅投資は、持ち直しの動きがみられている。公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、増加している。生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、高水準で推移している。雇用・所得情勢をみると、改善の動きがみられている。

県内企業の業況を12月短観で確認すると、全産業ベースでは、「良い」超幅が拡大した（全産業ベース：9月+14→12月+20→2024年3月<予測>+16）。

この間、10月の消費者物価指数（熊本市、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った。

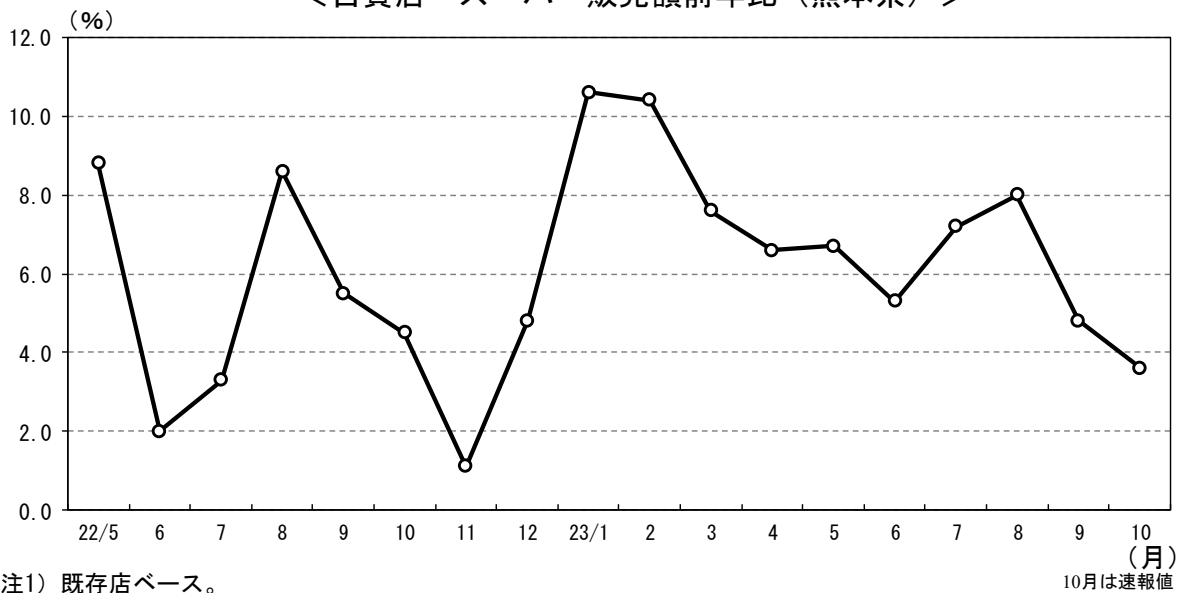
2. 個人消費

個人消費は、緩やかに回復している。

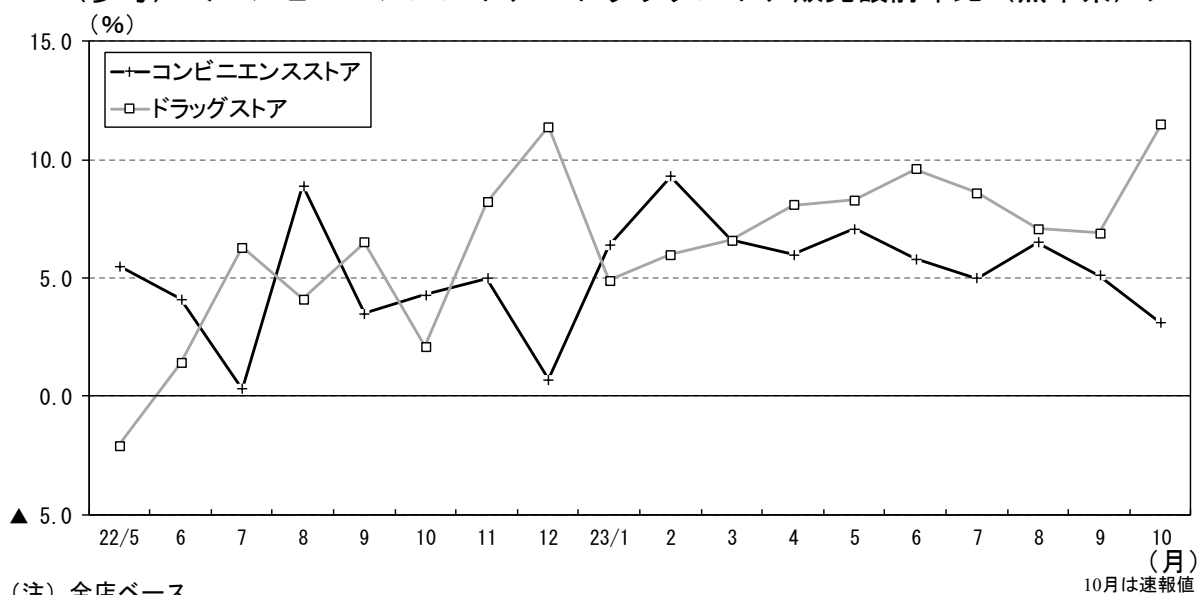
10月の百貨店・スーパー販売額は前年を上回ったものの、家電販売額は前年を下回った。11月の新車登録台数（含む軽）は前年を上回った。

観光は、増加している。

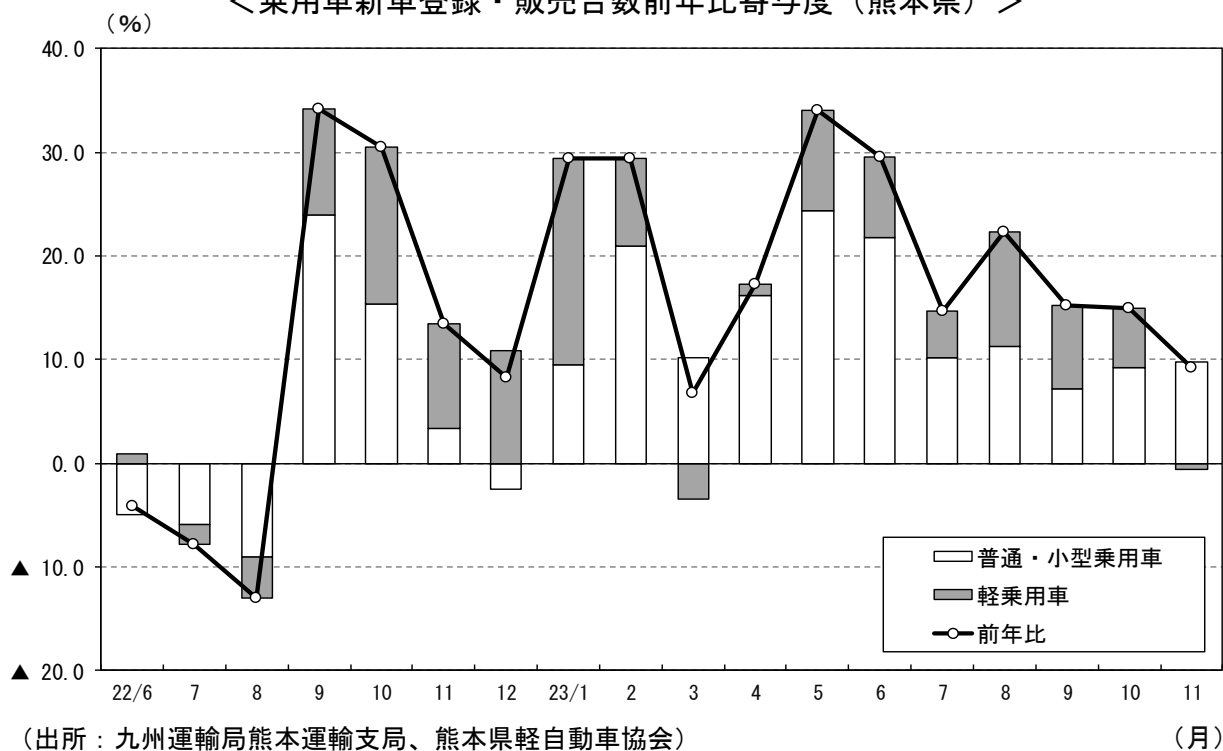
＜百貨店・スーパー販売額前年比（熊本県）＞



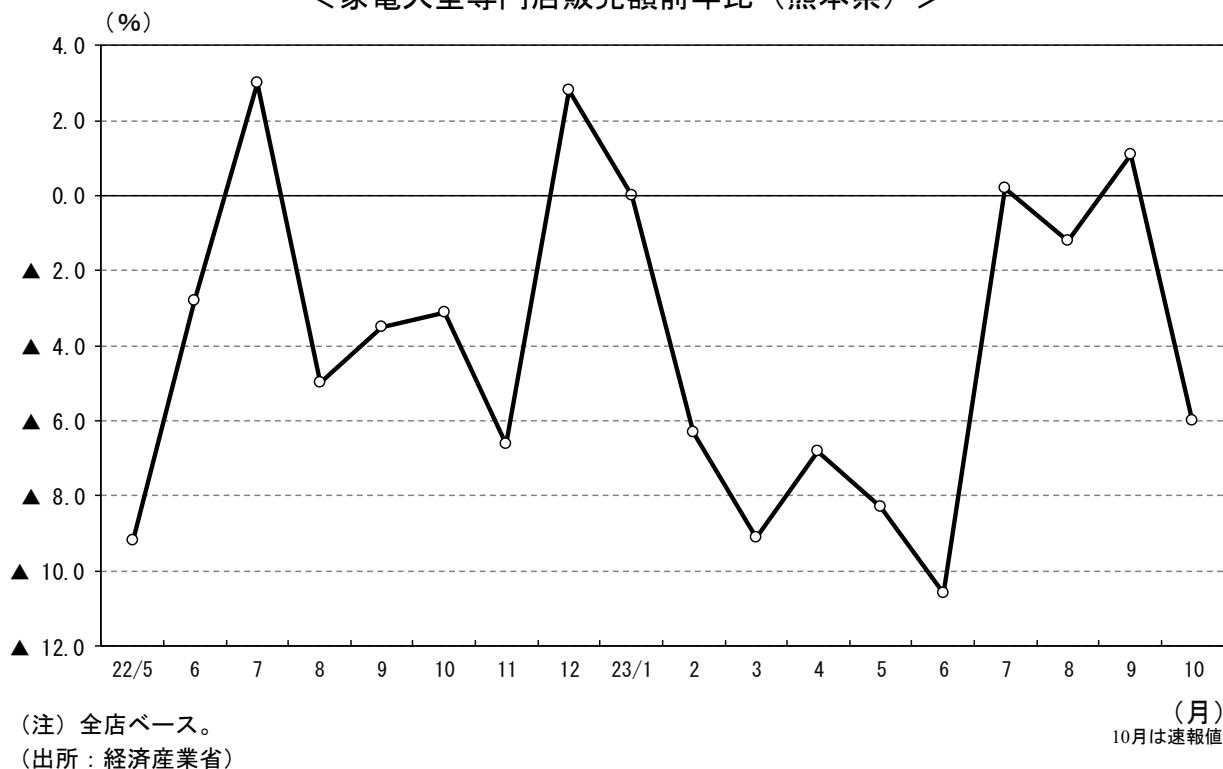
(参考) ＜コンビニエンスストア・ドラッグストア販売額前年比（熊本県）＞



＜乗用車新車登録・販売台数前年比寄与度（熊本県）＞



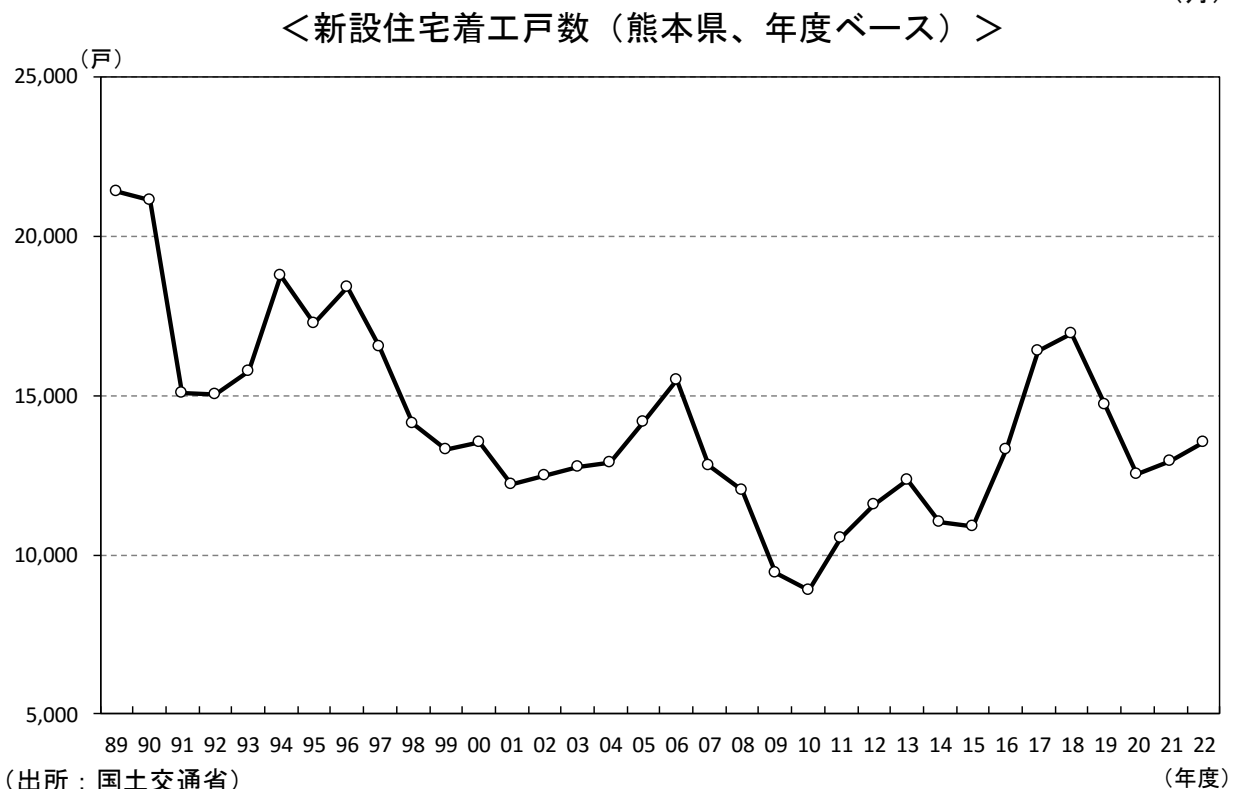
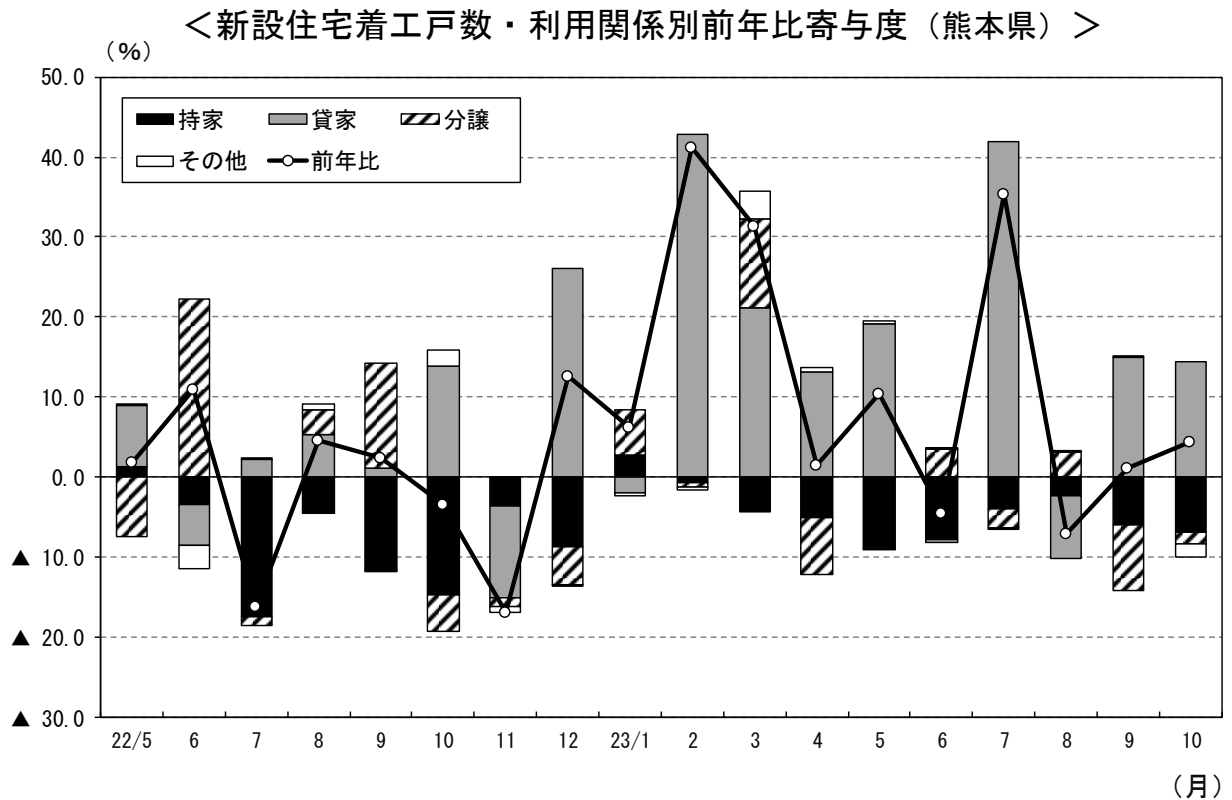
＜家電大型専門店販売額前年比（熊本県）＞



3. 住宅投資

住宅投資は、持ち直しの動きがみられている。

10月の新設住宅着工戸数は、貸家の増加により、前年を上回った（10月：前年比+4.4%）。

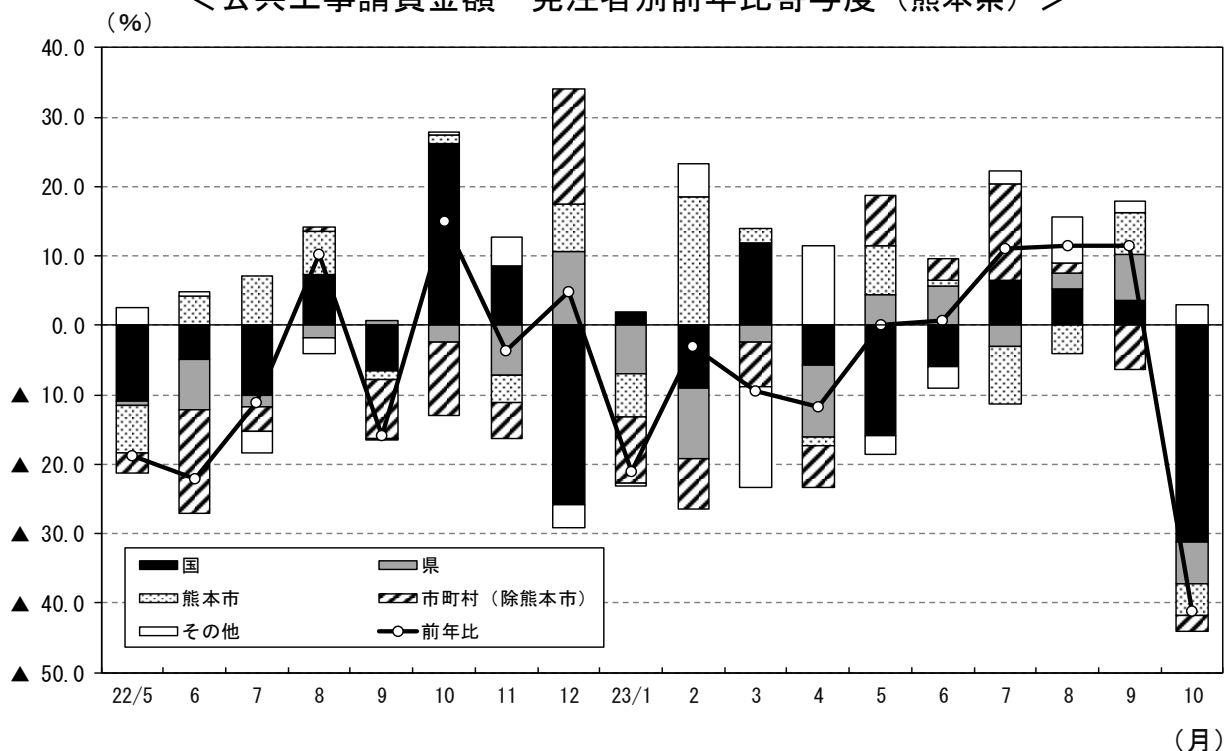


4. 公共投資

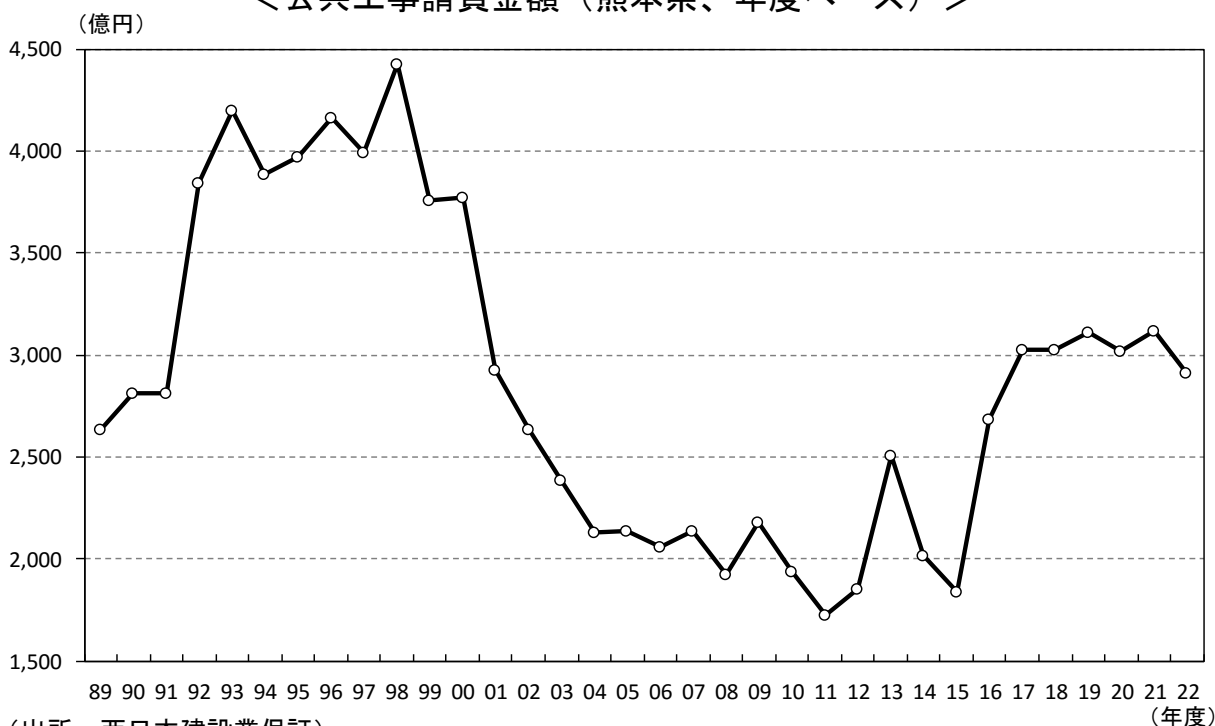
公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

10月の公共工事請負金額は、国を中心に、前年を下回った（10月：前年比▲41.1%）。

＜公共工事請負金額・発注者別前年比寄与度（熊本県）＞



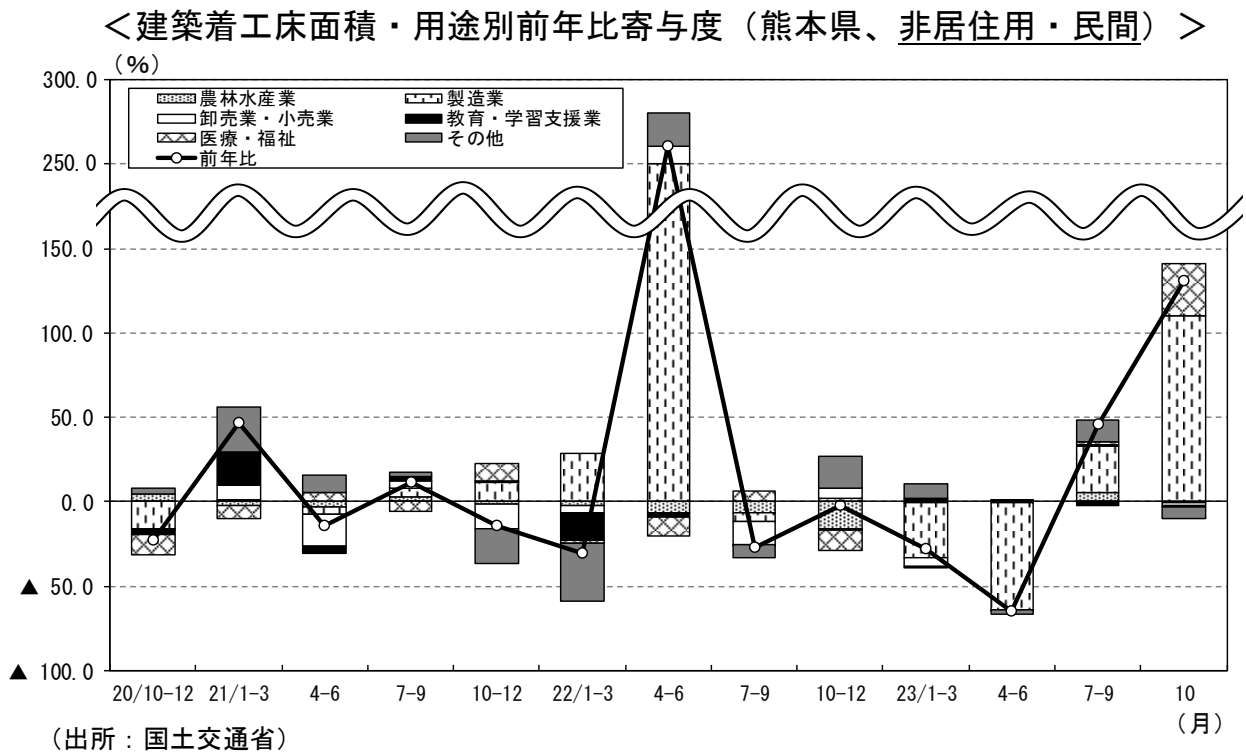
＜公共工事請負金額（熊本県、年度ベース）＞



5. 設備投資

設備投資は、増加している。

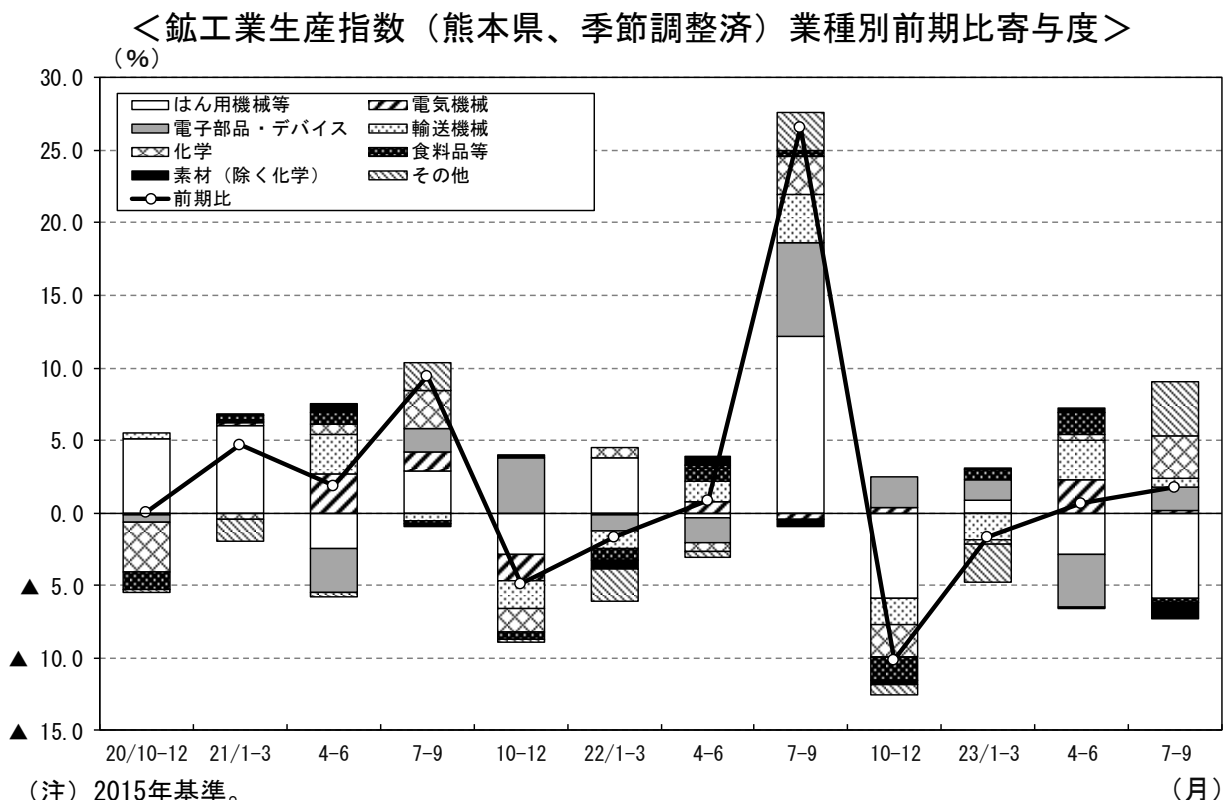
10月の建築着工床面積（非居住用・民間）は、製造業を中心に、前年を上回った（10月：前年比2.3倍）。



6. 生産

生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、高水準で推移している。

9月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、電子部品・デバイスを中心に、前月を下回った（9月：前月比▲0.8%）。

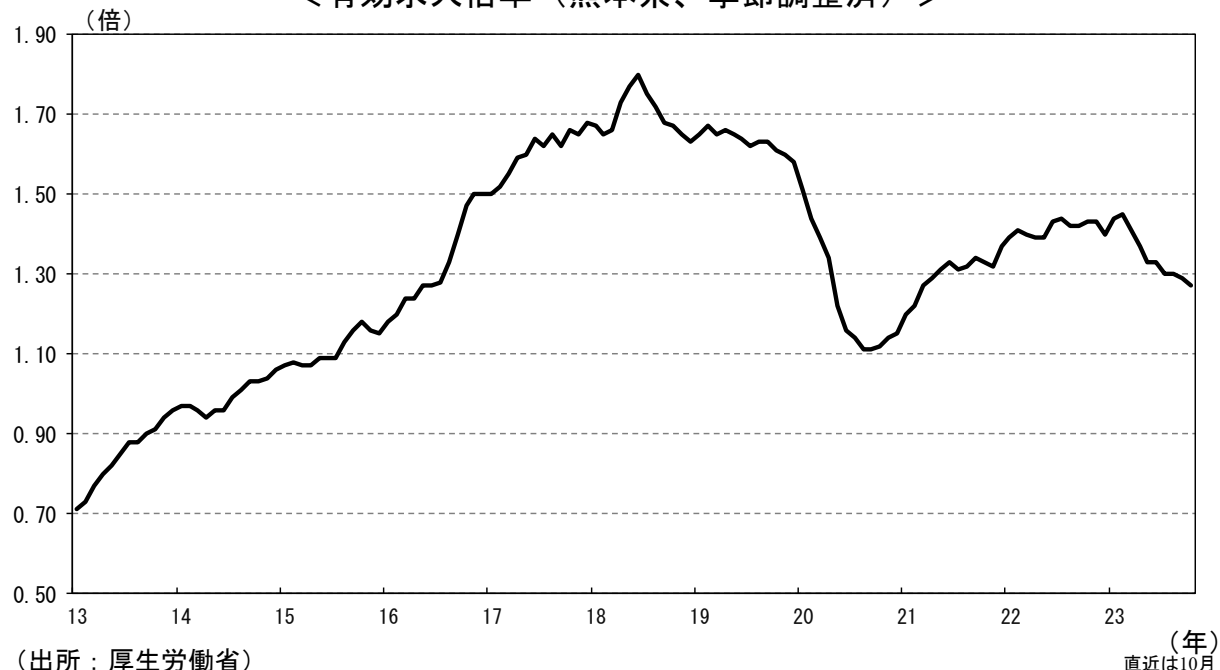


7. 雇用・所得

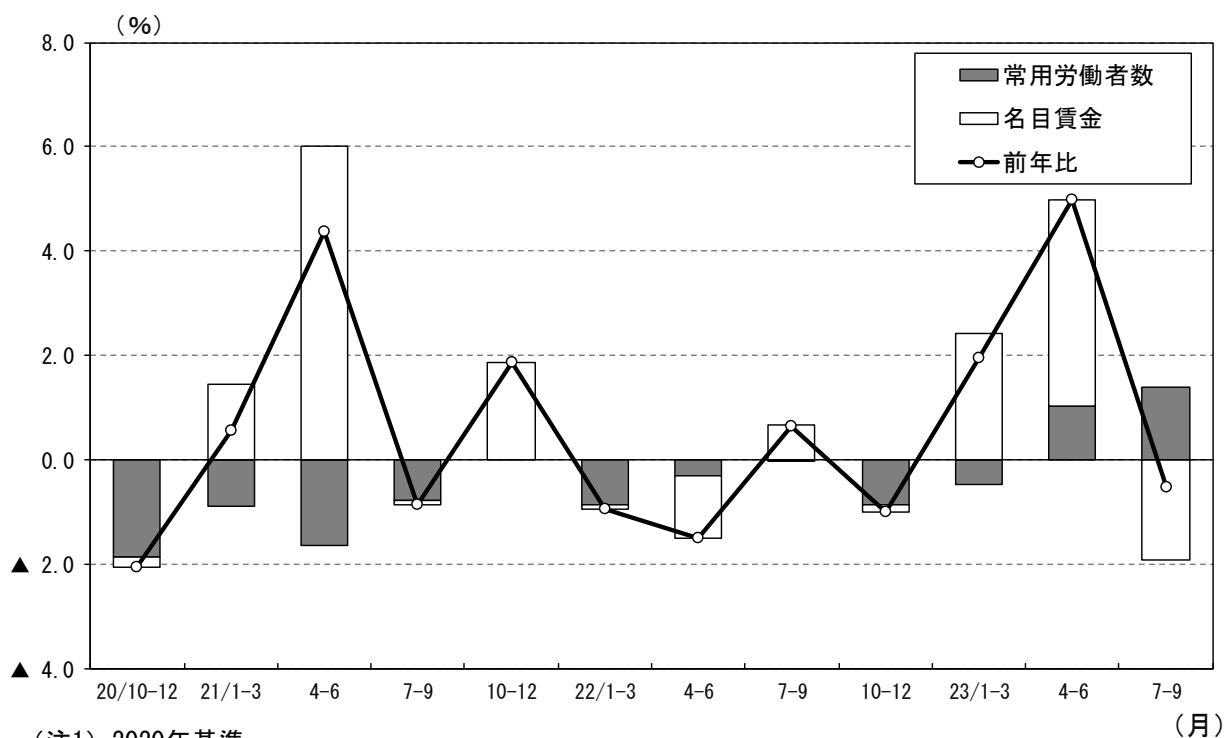
雇用・所得情勢をみると、改善の動きがみられている。

10月の有効求人倍率（季節調整済）は、前月から低下した（10月：1.27倍）。

＜有効求人倍率（熊本県、季節調整済）＞

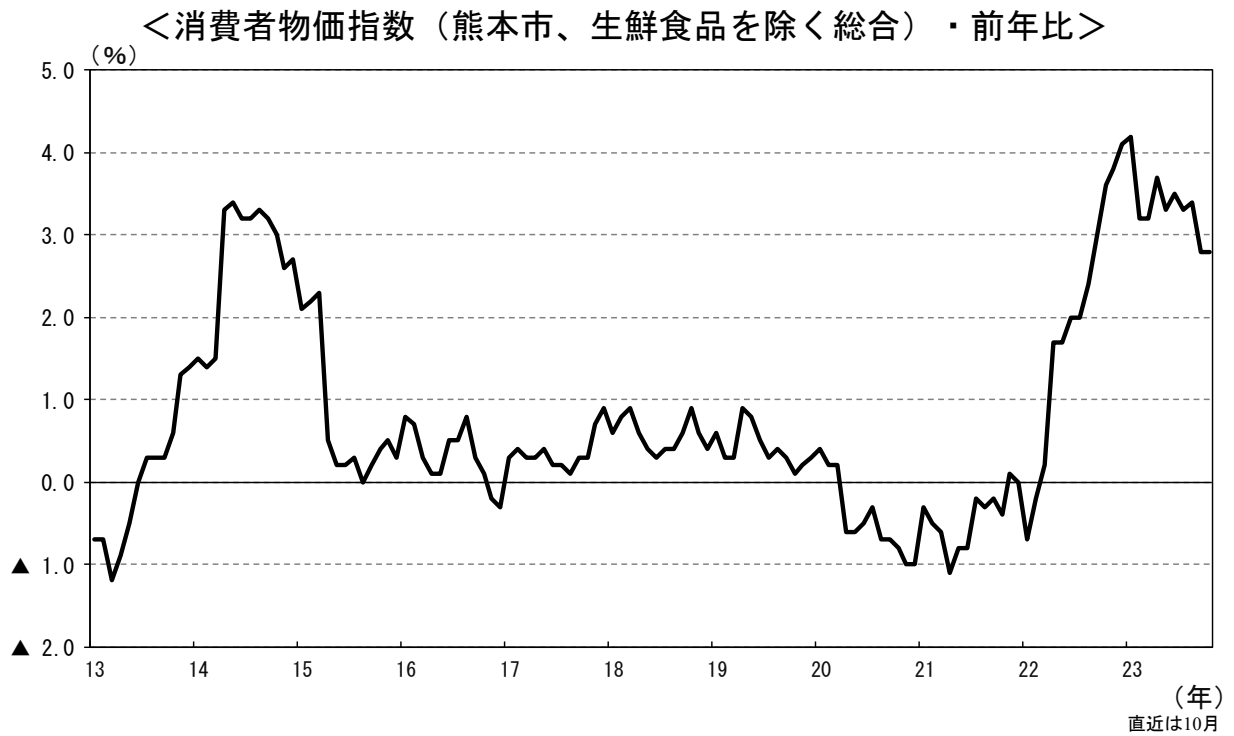


＜雇用者所得（熊本県、事業所規模5人以上）・前年比寄与度＞



8. 消費者物価

10月の消費者物価指数（熊本市、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った（10月：前年比+2.8%）。



(注) 2015年12月迄は2010年基準、2016年1月～2020年12月は2015年基準、2021年1月以降は2020年基準。

(出所：総務省)

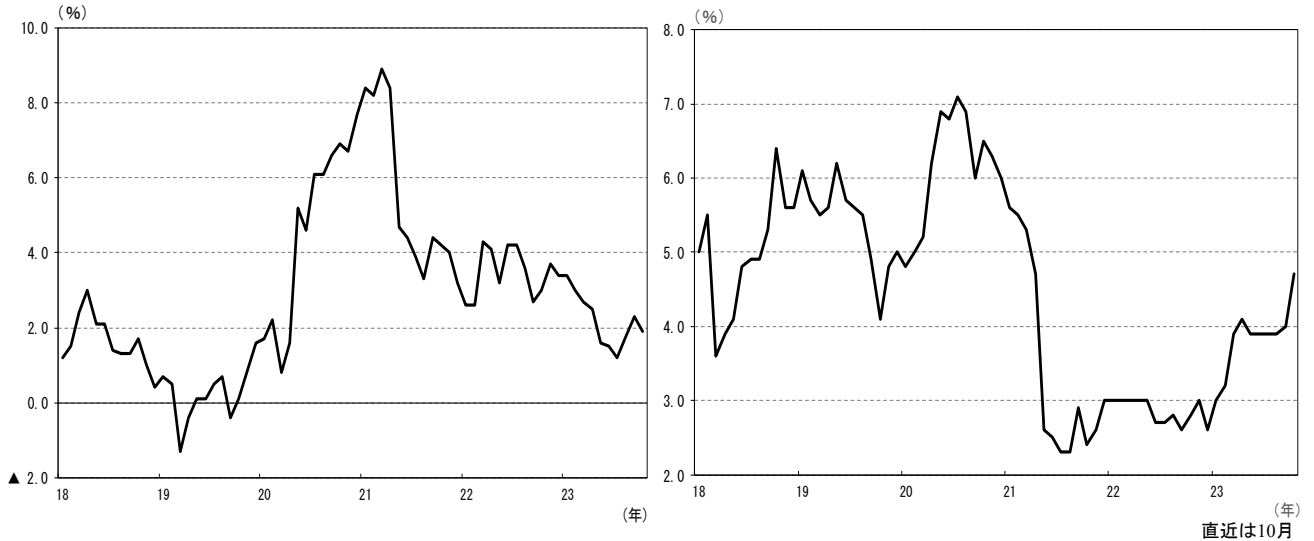
9. 預金・貸出金、貸出約定平均金利

10月の預金（実質預金＋譲渡性預金）、貸出金は、前年を上回った。

10月の貸出約定平均金利（総合、ストックベース）は、前月から低下した。

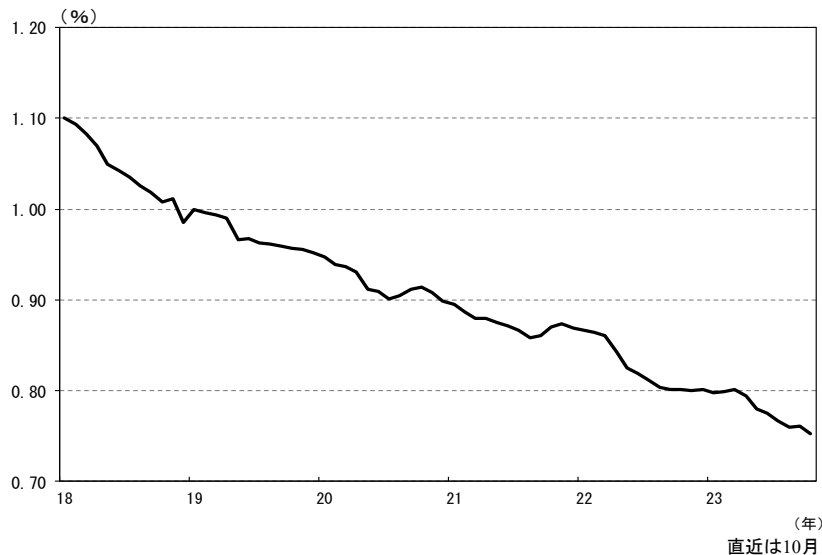
<預金（実質預金＋譲渡性預金）前年比>

<貸出金前年比>



(注) 熊本県内国内銀行ベース。詳細な定義は、本行本店HPの「預金・現金・貸出金、預金者別預金、貸出先別貸出金の解説」における、「Ⅲ. 都道府県別預金・現金・貸出金<月次調査>」を参照。

<貸出約定平均金利（総合、ストックベース）>

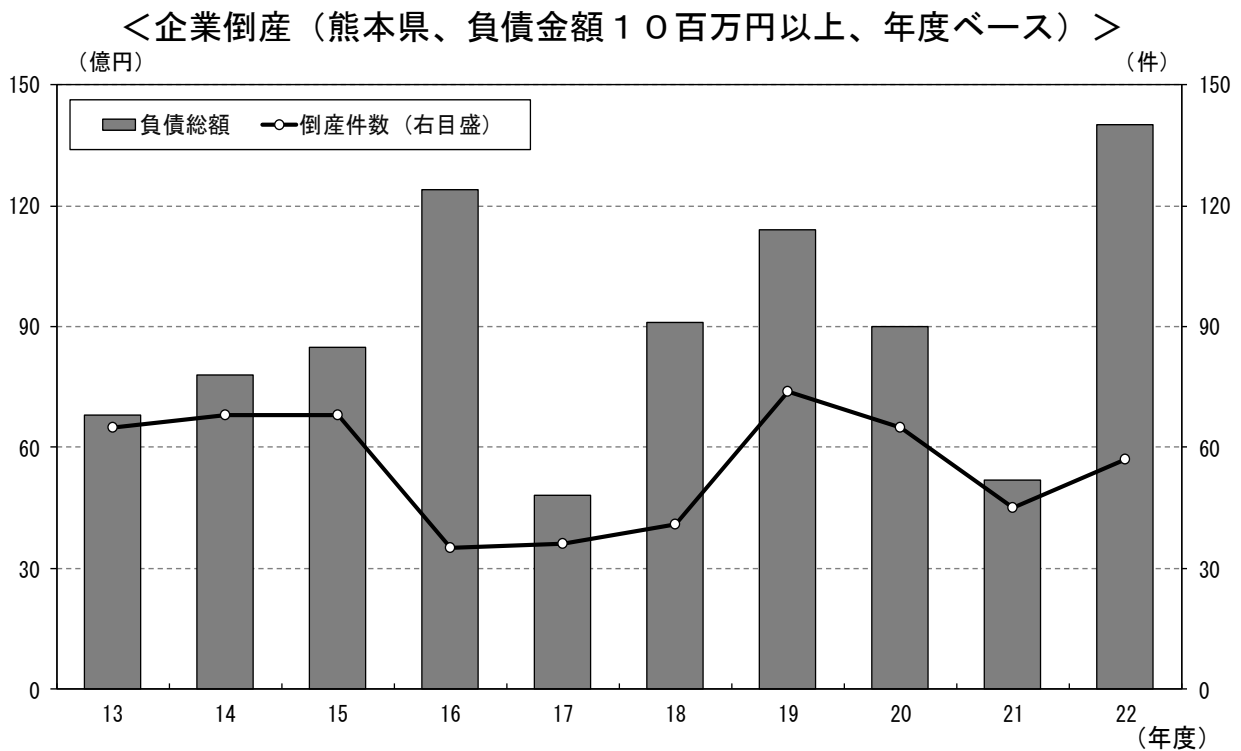
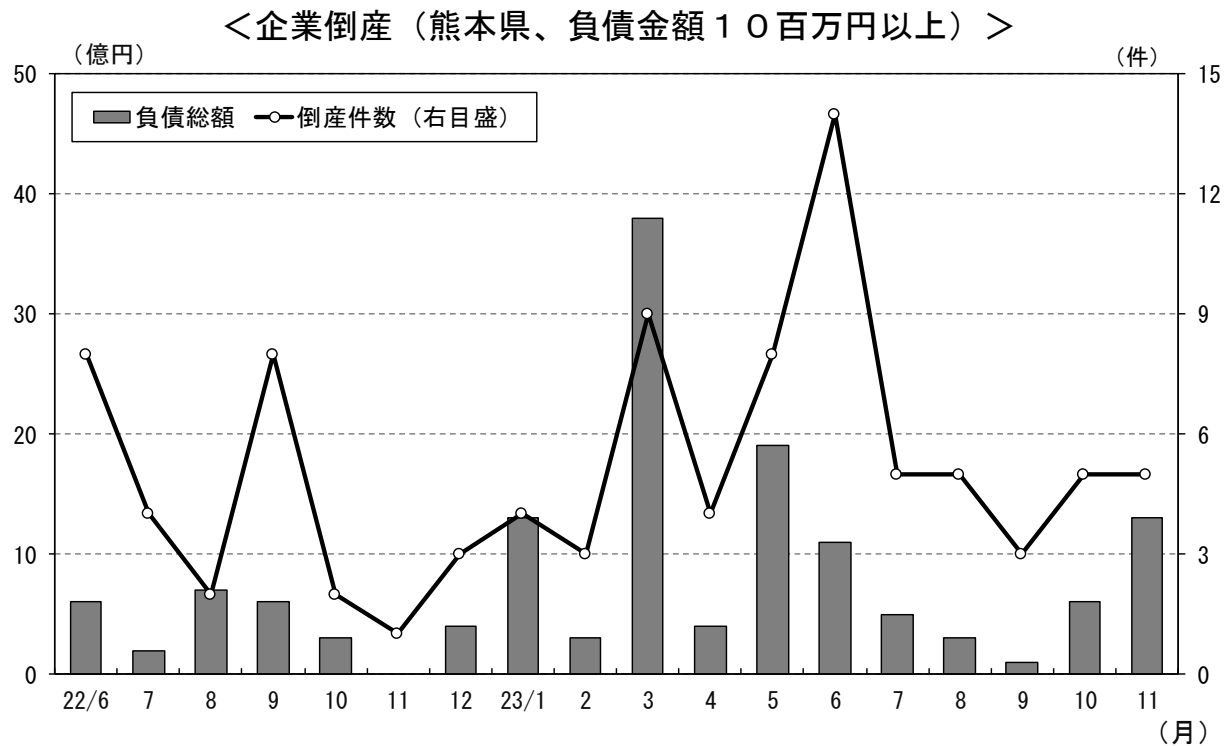


(注) 熊本県内に本店を有しており、かつ日本銀行と当座預金取引を行っている銀行・信金の貸出約定平均金利（総合、ストックベース）を加重平均したもの。詳細な定義は、本行本店HPの「貸出約定平均金利の推移の解説」を参照。

(出所：日本銀行、日本銀行熊本支店)

10. 企業倒産

11月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数、負債総額ともに前年を上回った。



（出所：東京商工リサーチ）

以 上